

三一の神の喜びがわたしたちの喜びとなる

聖書：ローマ 15:13. 14:17. ヨハネ 15:4, 11. ガラテヤ 5:22

I. 三一の神は喜びの神です：

- A. ローマ第 15 章 13 節は言います、「今や望みの神が、……すべての喜びと平安で、あなたがたを満たしてくださいますように」：
1. これは、喜びが神の属性の一つであることを示しています。
  2. 神は享受の神です。
  3. わたしたちの経験において、もしわたしたちが神を恵みとして享受するなら平安を持ち、そして、もしわたしたちが平安を持つなら喜びを持ちます。
- B. キリストは信者たちにとって喜びでもあります：
1. ヨハネ第 15 章 11 節において主は言われました、「これらの事をあなたがたに語ったのは、わたしの喜びがあなたがたの中にあり、あなたがたの喜びが満ちあふれるためである」。
  2. この節の文脈は、ぶどうの木とその枝に関する主の言葉です。
  3. わたしたちが神聖なぶどうの木の枝となることは、喜びの事柄、すなわち、喜びの生活です。
  4. わたしたちの喜びは、わたしたちが主の中に住むことから、わたしたちが主の愛の中に住むことから、いつもやって来ます。
  5. このような種類の生活において、わたしたちは喜びに満ちています。
  6. この喜びはキリストご自身です。彼がわたしたちの中に住むとき、彼の喜びがわたしたちの中に住んで、わたしたちの喜びの源となります。それは、わたしたちの喜びがあふれて、満ちあふれるようになるためであり、またわたしたちが喜びをもって日々を過ごすためです。
- C. 聖霊の中には喜びがあります—ローマ 14:17：
1. 神は、わたしたちが彼を享受し、彼の定められた御旨のために生きることを願っています—ネヘミヤ 8:10. エペソ 3:11。
  2. 三一の神は喜びの神です。使徒たちは、聖徒たちと共に働く同労者であり、それは彼らの喜びのためです—ローマ 15:13. ヨハネ 15:11. 17:13. 使徒 13:52. ガラテヤ 5:22. II コリント 1:24. ピリピ 1:25. 2:17-18。
  3. わたしたちは、主の言葉がわたしたちの心の中にあるという喜びを経験するでしょう—エレミヤ 15:16。
  4. 神の言の中で啓示されている甘い思想は、キリストの中で神がご自身を恵みとしてわたしたちに与えて、わたしたちの享受になったということです—ヨハネ 1:14, 16-17. II コリント 13:14：
    - a. 神と人との関係に対して聖書の中で最初に述べられている事は、神

がご自身を食物として人に提示しているということです。これが示している事は、神がわたしたちにご自身を享受してもらいたいということです—創 2:7, 9. 詩 16:11. エレミヤ 15:16。

- b. 神の願いは、ご自身をわたしたちに与えて、わたしたちの享受になるということです—ネヘミヤ 8:10。
- c. クリスマン生活の秘訣は、どれだけわたしたちが彼のために働くかではなく、どれだけわたしたちが彼を吸収し、彼を享受するかということです—ヨハネ 15:4-5. コロサイ 2:6-7。

## II. 三一の神の喜びが、わたしたちの喜びとなりつつあります：

### A. キリストは彼のパーソンにおいてわたしたちの喜びです：

- 1. もしわたしたちが主の中に住み、また主の愛の中に住むことによって主の中に住み続けるなら、わたしたちは喜びで満たされます—ヨハネ 15:10-11。
- 2. 主は、ほとんどのクリスマンの間で見逃されてきた事柄を回復しつつあります。そして、主を享受することは、これらの事柄の最も重要なものの一つです—I ペテロ 1:8。
- 3. 主を食べて享受するという事柄は、ヨハネ第 6 章 57 節に基づいています。
- 4. クリスマン生活は、日々、主を食べ、飲み、享受する生活です— 5 7 節. I コリント 10:4。
- 5. わたしたちが忠信で正常で適切なクリスマンになるために、わたしたちが顧みる必要のある主要な事柄は、主を享受することです。これは、わたしたちにとってビジョンとなる必要があります—箴 29:18. 使徒 26:19。
- 6. わたしたちの霊が、率先して主を享受する必要があります—ヘブル 4:12:
  - a. わたしたちは、直接わたしたちの霊を用いることと、魂を霊に従うものとならせることとを、学ばなければなりません。
  - b. わたしたちの霊が、進取的に率先して主を享受しなければなりません。
- 7. 御子は御父への祈りの中で、次のように言われました、「今わたしはあなたに行きます。わたしが世にあってこれらの事を語るのは、わたしの喜びが彼らの中で満ちあふれるためです」—ヨハネ 17:13:
  - a. 喜びが満ちあふれることは、真の一の中にあります。
  - b. わたしたちが御父の命によって御父の御名の中で一であり、御父と共に享受しているとき、主の喜びがわたしたちの中で満ちあふれます— 13 節。

### B. 神の愛する御子の王国である召会の中で、わたしたちはすべてを含むキリストを経験し享受します—コロサイ 1:12-13, 27. 2:9, 16-17. 3:1, 4, 11:

1. キリストは、わたしたちの割り当てられた分け前、わたしたちの良き地、すなわち神聖な嗣業であって、それはわたしたちの享受のためです— 1:12。
  2. キリストは、宇宙におけるあらゆる積極的な事物の実際です— 2:16-17。
  3. キリストは、神の右に座している方です— 3:1。
  4. キリストは、わたしたちの栄光の望みとしてわたしたちの内に住んでいます— 1:27。
  5. キリストは、わたしたちの命です— 3:4。
  6. キリストは、一人の新しい人の構成要素です— 10-11 節。
- C. I ペテロ第 1 章 8 節によれば、信者たちは「言葉では言い尽くせない、栄光に満ちた喜びをもって歓喜しています」:
1. この喜びは、栄光である主の中に浸されています。こういうわけで、それは主の表現に満ちています。
  2. わたしたちは主の中へと信じ、主を愛することによって、大いなる喜びを獲得します。
  3. クリスチャンの正常な状態とは、栄光に満ちた喜びを持つことです。
- D. 主を享受することには多くの面があります。それは、主の臨在の喜び（詩 16:11）、神聖なロマンスの中で生きる喜び（雅 1:1-4）、神聖な三一の神聖な分与の喜び（Ⅱコリント 13:14. エペソ 3:14-21）、神の楽しみから飲む喜び（詩 46:4 前半. 36:8 後半）、神の愛を知る喜び（ガラテヤ 2:20. ローマ 8:38-39）、神のみこころを行なう喜び（詩 40:8 前半）、すべての境遇に満ち足りることの喜び（ピリピ 4:11）、王国で主の喜びの中へと入ることなどです（マタイ 25:21, 23）。
- E. クリスチャンは、喜びに満ちている人であるべきです。すなわち、その霊の中で喜びに満ちているべきです—ガラテヤ 5:22 :
1. わたしたちが主の中にいるとき、主はわたしたちの喜びです—ローマ 14:17。
  2. わたしたちが主の中に住んでいるとき、どんな問題があろうと、わたしたちは喜びに満ちています。そして、どんな困難も、主にあるわたしたちの喜びを深めます—ヨハネ 15:4。
  3. 聖霊は、喜びの霊です—ローマ 14:17 :
    - a. もしわたしたちが喜びに満ちているなら、この事が示しているのは、わたしたちの中の聖霊も喜びに満ちているということです—ガラテヤ 5:22。
    - b. 外側の環境には、わたしたちを喜びに満ちさせるものは何もないでしょう。しかし、わたしたちの中に生きている主は、わたしたちの喜びです—コロサイ 1:27。